

K-MIXについては、9月号の「香川県産業成長戦略」の特集の中でも重点プロジェクトの一つとして、関連産業の育成について取り上げていますが、全県的遠隔医療ネットワークのことで、英語のKagawa Medical Internet eXchangeの略称です。

香川県には、24の有人離島があり、各地にへき地も点在しています。こうした地域では、お医者さんや看護師さん、薬剤師さんが少なく、住民の皆様への適切な医療の提供が長年の課題ですが、そんな中で、誰もが同じ水準の医療を受けられ、安心して暮らせるよう、インターネットなどの高度情報技術を活用したネットワークの開発に取り組んだのが、K-MIXです。

K-MIXにより、遠隔診断や、画像情報、検査結果を添付した患者紹介などができ、現在、県内外120の医療機関が参加し、年間3,000件を超える利用があります。医療資源の乏しい地域でも、大学病院等の専門医の助言やバックアップにより、近くのかかりつけのお医者さんで安心して治療を受けることができま

かがわ遠隔医療ネットワーク K-MIX

す。また、検査の重複を減らし、急性期から回復期への切れ目ない治療など、迅速で効率的な医療が可能になりました。



第1回プラチナ大賞最終審査

K-MIXは、県、県医師会、大学の協働により立ち上げられた全国初の全県的医療ネットワークです。このノウハウを活用して、電子カルテ機能統合型テレビ会議システム「ドクターコム」やペンでデータを読み取り、救急患者情報を搬送先病院に送る救急医療システムのデジタルペン、さらには電子おくすり手帳などの様々な医療情報技術が香川で生まれています。

こうした取り組みについて、去る7月25日、プラチナ構想ネットワーク(会長：小宮山宏・三菱総合研究所理事長)の第1回プラチナ大賞最終審査で、私から説明し、特別賞を受賞しました。今後、さらにオリープナースの育成などを含む「かがわ医療福祉総合特区」にもK-MIXを活用していきます。

香川県知事 浜田 恵造